

応援の気持ちを大切に活用

令和7年度の町へのふるさと納税額は、約10億5,200万円です。町民1人あたりのふるさと納税額は、令和7年国勢調査人口速報集計をもとに計算すると約23万4,000円で、県内ナンバーワンとなった昨年の約17万7,000円を約5万円上回り、過去最高額となりました。

町を応援する多くの方からいただいた寄付金は、「地域の活力あるまちづくり」など6つの分野で私たちの生活に活用されています。

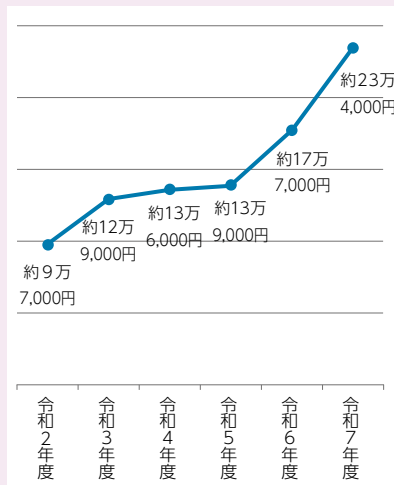
▼問い合わせ／

舟形町まちづくり課ふるさと応援推進室

☎ (32) 0844

舟形町は県内ナンバーワン！

● 町民1人あたりの寄付額（速報値）



（町独自集計）



ふるさと納税の返礼品として人気の舟形町産の米。他にもシャインマスカットなどのフルーツや真鴨肉、木工品などが返礼品として寄付者に届けられています。

町民1人あたりのふるさと納税額

過去最高額！

町の自主財源としての町税

町の令和8年度当初予算では、町税の金額は4億8,130万円となっており、町の自主財源として重要です。令和2年度から令和6年度まで、町税収納率は速報値で5年連続県内ナンバーワンとなり、令和7年度も同様の高水準を維持しています。

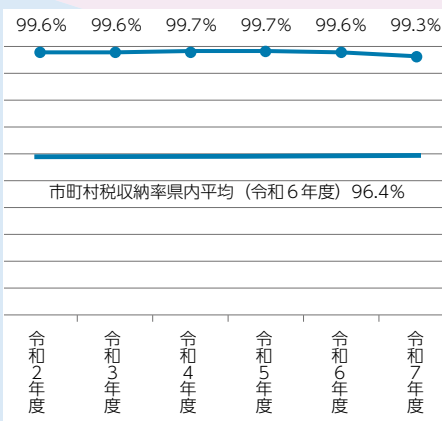
税金は、みなさんが豊かな生活を送るために必要な公共サービスを提供する費用です。道路や学校を整備したり、防災や福祉の取り組みを行ったりするためには欠かせません。

今後とも税務行政へのご理解とご協力をお願いします。

▼問い合わせ／舟形町住民税務課税務係

☎ (32) 0466

● 町税収納率（速報値）



（町独自集計）



町職員が講師となり、6月30日には舟形小学校で、7月16日には舟形中学校で、租税教室が開催されました。児童・生徒は1億円のレプリカ体験やクイズなどをおして、税金の意義や役割を学びました。



暑さに負けず

猛暑の中、第108回全国高等学校野球選手権山形大会が開催されています。舟形中学校野球部OB選手の活躍を祈っています。実は、私も高校球児で第60回山形大会に4番セカンドで出場していました。私は、その年もたいへん暑かった記憶がありますが、今年の暑さとは比べようありません。昔は、練習中に水を飲むなど言われた時代で、今の暑さだったら野球を辞めていたかも。

近年は35℃以上の「猛暑日」の予報が連日のように発表され、40℃以上を「酷暑日」と呼ぶようになりましたが、

私が野球をやっていたころは25℃以上の「夏日」、30℃以上の「真夏日」だけでした。かつて日本では、夏の暑さを「炎昼」や「薫風」といった情緒ある季語で表現し、涼を見つける暮らしのなかに風情を味わっていましたが、まずは、40℃の日が続くことのないよう、地球温暖化防止対策を進めなければなりません。追伸 当時、試合中に食べたレモンのスライスが体力をよみがえらせてくれたことを思い出しました。

森 富広



町税収納率

5年連続県内1位！